

令和5年度 坂元中学校区小・中連携研修会研究のまとめ

1 小中連携部会のテーマ

児童・生徒の自己肯定感を高めるための指導のあり方
～確かな学力の育成と生活指導の充実を中心にして～

2 研究会の実際

(1) 実施計画

4月28日(金)	3校連絡会
6月9日(金)	各校からの資料提出の締め切り
6月14日(水)	各校へ研修会資料送付
6月19日(月)	小中連携研修会 (共通実践事項・共通理解事項についての話し合い)
7月末	各校で具体的な取組について話し合い、実践する。 担当校は、小中連携研修会の話し合いのまとめをする。
2月末	各校で取組を振り返り、まとめる。 担当校は各校の取組をまとめ、次年度へ引き継ぐ。

(2) 研究の実際

① 研究会実施日時

令和5年6月19日(月) 14:00～16:45

② 研究会の日程

14:00～14:20 受付
 14:20～15:05 授業参観
 15:05～15:30 【会場校】帰りの会【参加校】分科会会場へ移動・準備
 15:30～16:15 分科会

分科会	分科会の内容
授業改善	「主体的・対話的で深い学び」の実現のための各校の現状、課題の確認と、課題解決に向けた改善のあり方
家庭学習	「家庭学習強調週間」を充実させる具体的な取組み例と、今後の実施方法
GIGA スクール構想	各校の現状と、発達段階に応じて身に付けさせたいICTの活用法
生活指導 <small>(心の発達)</small>	各校の「生活のしおり」等の確認と、現状、学校で配慮できること
特別支援教育	進路指導を見据え、スムーズな連携を目指した指導や支援のあり方
小6・中1情報交換	各校の児童・生徒の実態と、中1ギャップ解消の手立て

16:15～16:25 全体会会場へ移動・準備

16:25～16:45 全体会

(3) 分科会報告

分科会	共通実践事項及び共通理解事項	共通実践事項の見直し (具体例・重点指導項目)
授業改善	① 学習の流れの明確化・・・めあて(青色で囲む)とまとめ(赤色で囲む) ② 自己評価(学びの振り返りの確保)	○ めあてとまとめについては、小学校はこれまで通り行う。(めあては青、まとめは赤)中学校は、色にはこだわらず、めあてとまとめを必ず書くようにする。 ○ 学び合いの時間の確保に努める。
家庭学習	① 家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。(テスト1週間前から開始) ② 3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	○ 中学校の期末テスト期間に合わせて、小学校の家庭学習強調週間を設定する。 ○ タブレットでの学習について、各学校内で共通理解を図る。
GIGA スクール構想	① 基礎的・基本的な力を小学校で身に付け、中学校で生かす。(各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。) 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	○ 小学校高学年では、文字入力目標値を1分間に50文字程度にする。(タイピングの練習) ○ 中学校のカリキュラムにはWord、Excel、PowerPointの使い方の授業が組み込まれていないが、授業では当然扱えるものとして進めていくので、小学校で使い方についてふれてほしい。 ○ 各学校で研修を進め、教員のスキルアップを目指す。 ○ 小学校を卒業するときに、小学校で作ったTeamsのチームの削除をする。
生活指導 (性の多様性を含む)	① あいさつを進んでする子供に ② 教師が授業の始め・終わりの時間を守る。 ③ 男女混合名簿 ④ 呼び方(～さん) ⑤ 保護者への啓発	○ 丁寧な言葉づかいを心がけさせる。 ○ 規則正しい生活リズムを心がけさせる。 ○ 校則・生活のきまりを共有する。
特別支援教育	① 在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	○ 4月 小中連絡会(特別支援教育担当で現状の確認を行う) ○ 6月 小中連携研修会 ○ 1月 中学校入学説明会(6年特支担任で打ち合わせ) ○ 1月 特別支援学級体験説明会(児童・保護者に具体的に説明) ○ 年度末 中学校との引継ぎ(通常学級の裏で支援学級児童)
小6・中1 情報交換	① 姿勢の保持 ② ルールを守ること →次の人のことを考える 思いやりをもった行動	○ 姿勢の保持に気を付けさせる。 ○ 相手のことを考え、ルールを守るように心がけさせる。

【分科会】



【全体会】



(4) 各校の具体的取組策と振り返り

【坂元中学校】

分科会	共通実践事項 共通理解事項	共通実践事項の見直し (具体例・重点指導項目)	坂元中の取組	振り返り
授業改善	① 学習の流れの明確化 めあて(青) まとめ(赤) ② 自己評価	○ 小学校はこれまで通り。中学校は、色にはこだわらず、めあてとまとめを必ず書く。 ○ 学び合いの時間確保に努める。	① 実践しているが、色は徹底できていない。 ② 授業の中での振り返りは、概ねできている。	・ 色については、今後検討が必要である。 ・ 話し合い活動の在り方やしつけ、ノート指導等を共通理解する。
家庭学習	① 家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。 ② 3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	○ 中学校の期末テスト期間に合わせて、小学校の家庭学習強調週間を設定する。 ○ タブレットでの学習について、各学校内で共通理解を図る。	① 生活の記録のテスト学習計画表に計画を記入し取り生ませた。 ② 生徒にタブレットを持ち帰らせており、家庭学習での調べ学習やnavimaの活発な活用を推進している。	・ navimaの活用が増えてきた。特に、特別支援学級での活用が伸びてきている。 ・ 課題の提出が厳しい生徒がいる。小学校からの連携の重要性を感じた。
GIGA スクール 構想	① 基礎的・基本的な力を小学校で身に付け、中学校で生かす。(各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。) 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	○ 高学年で、文字入力目標値を1分間に50文字程度に。 ○ 中学校ではWord、Excel、PowerPointが扱えるものとして進める。小学校で使い方にふれる。 ○ 教員のスキルアップを目指す。 ○ 小学校卒業時に、Teamsのチーム削除をする。	① 学力向上プログラムでの研究授業の際に、ICT機器の活用場面を入れており、相互授業参観等での学び合いを職員間で行っている。 ② 学校ICT推進センターから講師を招聘し、navima等の活用に関する職員研修を複数回実施した。	・ 小学校でタイピング等の目標をどのレベルまでとするのかを共有することで、中学校での使用方法も質の高いものになっていくと感じた。 ・ ロイロノートの使用状況や活用法なども小・中で共有し、つながりを意識した指導をしていかないと感じた。
生活指導	① あいさつを進んでする子どもに ② 教師が授業の始め・終わりの時間を守る。 ③ 男女混合名簿 ④ 呼び方(～さん) ⑤ 保護者への啓発	○ 丁寧な言葉づかいを心がけさせる。 ○ 規則正しい生活リズムを心がけさせる。 ○ 校則・生活のきまりを共有する。	① 生徒会とも連携し、あいさつは積極的にできるようになった。門礼も伝統的に引き継がれている。 ② ノーチャイムが伝統なので、時間を守るはできている。	・ あいさつは、登下校時だけではなく、校内でも意識的にできている。 ・ 5分前行動・2分前着席・1分前黙想により、落ち着いて授業に取り組んでいる。
特別支援教育	① 在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	○4月 小中連絡会(特別支援担当で現状確認) ○6月 小中連携研修会 ○1月 中学校入学説明会(6年特担任で打ち合わせ) ○1月 特別支援学級体験説明会(児童・保護者に具体的に説明) ○年度末 中学校との連携(通常学級の裏で支援学級児童)	① 夏季休業期間及び県民週間を活用した特別支援学級の紹介、説明等を実施した。 ② 体験説明会による保護者、児童への説明と交流会を実施した。 ③ 生徒の実態に応じた教育相談を実施した。	・ 新入生が、中学校の新しい環境にスムーズに移行していけるように、今後も引き続き確実に行っていく。
小6・中1 情報交換	① 姿勢の保持 ② ルールを守る→次の人のことを考える 思いやりをもった行動	○ 姿勢の保持に気を付けさせる。 ○ 相手のことを考え、ルールを守るように心がけさせる。	① 小中連絡会資料の見直しを行い、より有効に活用できるように修正を加えた。	・ ルールを守ろうとする雰囲気全体に浸透させることができた。

【坂元小学校】

分科会	共通実践事項 共通理解事項	共通実践事項の見直し (具体例・重点指導項目)	坂元小の取組	振り返り
授業改善	① 学習の流れの明確化 めあて(青) まとめ(赤) ② 自己評価	○ 小学校はこれまで通り。中学校は、色にはこだわらず、めあてとまとめを必ず書く。 ○ 学び合いの時間確保に努める。	○ 授業改善を目的として、学び合いの充実に取り組む。 ○ 教師一人一人が意識して授業改善に取り組むことができるよう、研修には学年部主体で取り組む。	○ 発達段階に応じた学び合いについて研修を深めることができた。また、特別支援教育部としての取組も行った。 ○ 交換授業や自由進度学習に取り組む学年部もあった。全体として授業改善の意識が高まっている。
家庭学習	① 家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。 ② 3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	○ 中学校の期末テスト期間に合わせて、小学校の家庭学習強調週間を設定する。 ○ タブレットでの学習について、各学校内で共通理解を図る。	○ メディアコントロール週間と併せて中学校のテスト期間に実施している。 ○ 高学年は取り組み時刻を記録している。 ○ タブレットを活用し家庭学習の時間を確認している。	○ メディアに触れる時間を減らすことで学習時間を確保できるように取り組んだ。 ○ タブレットでの家庭学習により、学習時間や実施の有無など確認しやすくなった。
GIGA スクール 構想	① 基礎的・基本的な力を小学校で身に付け、中学校で生かす。(各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。) 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	○ 高学年で、文字入力目標値を1分間に50文字程度に。 ○ 中学校ではWord、Excel、PowerPointが扱えるものとして進める。小学校で使い方にふれる。 ○ 教員のスキルアップを目指す。 ○ 小学校卒業時に、Teamsのチーム削除をする。	○ キーボード入力を主に使用させる。キーボードが故障している場合についてもローマ字で入力させることを意識させる。 ○ 教職員の配付資料のペーパーレス化を図る。(PDF化の研修等の実施) ○ 情報教育研修の実施	○ ローマ字入力に苦手意識をもつ児童は減ってきているように感じる。 ○ 教職員の活用状況には個人差はあるものの、意識の高まりは感じる。引き続き研修を進めていきたい。 (実施した研修) ① ロイロノートの使い方 ② (選択研修) 【Kahoot!】 【Canva】【iMovie】の紹介 ③ PDF化研修
生活指導	① あいさつを進んでする子どもに ② 教師が授業の始め・終わりの時間を守る。 ③ 男女混合名簿 ④ 呼び方(～さん) ⑤ 保護者への啓発	○ 丁寧な言葉づかいを心がけさせる。 ○ 規則正しい生活リズムを心がけさせる。 ○ 校則・生活のきまりを共有する。	○ 「ア・ロ・ハ」の推進(挨拶・廊下歩行・履物揃え) ○ 生活委員会による学期1回の朝の先手挨拶運動の実施	○ どの実践事項にしても個人差が大きいので、その場での指導が必要。 ○ 全体的に友達への呼び捨てが目立ってきたので注意したい。
特別支援教育	① 在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	04月 小中連絡会(特別支援担当で現状確認) 06月 小中連携研修会 01月 中学校入学説明会(6年特支援担任で打ち合わせ) 01月 特別支援学級体験説明会(児童・保護者に具体的に説明) 0年度末 中学校との連携(通常学級の裏で支援学級児童)	① 共通実践事項の計画的実施 ② 児童との教育相談 ③ 保護者との連携 面談・連絡帳・電話 教育支援計画 移行支援シートの作成	○ ①②③とも計画的に取り組んだ。 ○ 特別支援担任同士相互授業参観や合同授業を行い、児童理解に努めた。
小6・中1 情報交換	① 姿勢の保持 ② ルールを守る→次の人のことを考える 思いやりをもった行動	○ 姿勢の保持に気を付けさせる。 ○ 相手のことを考え、ルールを守るように心がけさせる。	○ なるべく動く活動を入れて静と動のメリハリをつけさせる。 ○ 凡事徹底事項を繰り返し確認・指導する。	○ メリハリをつけることで集中して学習に取り組んでいた。 ○ 概ねできているが、個人差が大きい。

【坂元台小学校】

分科会	共通実践事項 共通理解事項	共通実践事項の見直し (具体例・重点指導項目)	坂元台小の取組	振り返り
授業改善	① 学習の流れの明確化 めあて(青) まとめ(赤) ② 自己評価	○ 小学校はこれまで通り。中学校は、色にはこだわらず、めあてとまとめを必ず書く。 ○ 学び合いの時間確保に努める。	○ めあてとまとめは、色を分けて必ず書く。子供たちもノートに色分けさせる。 ○ 校内研修でも学び合いをテーマに入れ、意識して授業を組み立てるようにする。	○ めあてやまとめの書き方は、積み重ねがあり、定着している。 ○ 研修でも学び合いの時間について研究し、課題はあるが学び合いの仕方について深めることができた。
家庭学習	① 家庭学習強調週間の時期を中学校のテスト期間に合わせる。 ② 3校合同の取組であることを保護者にも伝える。	○ 中学校の期末テスト期間に合わせて、小学校の家庭学習強調週間を設定する。 ○ タブレットでの学習について、各学校内で共通理解を図る。	○ 家庭学習強調週間を設けて週報等で知らせている。 ○ タブレットは、各学年で使い方を統一している。	○ タブレットの活用をもっと学校で統一していく必要がある。 ○ 夏休み等の課題帳などにもタブレットを活用していったらよい。
GIGA スクール 構想	① 基礎的・基本的な力を小学校で身に付け、中学校で生かす。(各学年に応じて基本的なタブレットの操作ができるようにする。) 「プレゼンテーション」 「プログラミング」	○ 高学年で、文字入力目標値を1分間に50文字程度に。 ○ 中学校ではWord、Excel、PowerPointが扱えるものとして進める。小学校で使い方にふれる。 ○ 教員のスキルアップを目指す。 ○ 小学校卒業時に、Teamsのチーム削除をする。	○ ロイロノートを授業で活用。活用の中でタイピングに慣れさせる。 ○ word, Excel, PowerPointは、触れさせる程度(上学年)にしている。 ○ 研修を数回行った。 ○ プログラミング活動の実施の仕方を明記している(3年以上)	○ 具体的なモデルや取組を共通理解することができた。 ○ 職員研修することで、スキルアップにつながった。
生活指導	① あいさつを進んでする子どもに ② 教師が授業の始め・終わりの時間を守る。 ③ 男女混合名簿 ④ 呼び方(～さん) ⑤ 保護者への啓発	○ 丁寧な言葉づかいを心がけさせる。 ○ 規則正しい生活リズムを心がけさせる。 ○ 校則・生活のきまりを共有する。	○ せざるちゃんカードで家庭にも呼びかける。 ○ 時間で黙想。授業の時間を教師も守る。 ○ 坂小と共有した生活のきまりを活用した。	○ 保護者との連携についても、小中で情報を共有し、指導できればと思う。 ○ 生活のきまりを坂小と共有できた。
特別支援教育	① 在籍保護者・児童との教育相談をしっかりと行い、情報を中学校に提供する。	04月 小中連絡会(特別支援担当で現状確認) 06月 小中連携研修会 01月 中学校入学説明会(6年特支担任で打ち合わせ) 01月 特別支援学級体験説明会(児童・保護者に具体的に説明) 0年度末 中学校との引継ぎ(通常学級の裏で支援学級児童)	○ 教育相談で通学先などを確認した。 ○ 1/18の中学校説明会の際に、6年生の情報を共有した。	○ 年間を通して、2～3回は、中学校担任と情報交換会をすることができてよかった。
小6・中1 情報交換	① 姿勢の保持 ② ルールを守る→次の人のことを考える 思いやりをもった行動	○ 姿勢の保持に気を付けさせる。 ○ 相手のことを考え、ルールを守るように心がけさせる。	○ 授業中の声かけ(意識づけ)(聞く姿勢等)(姿勢で合図) ○ 中学校がノーチャイムのため3学期に訓練する ○ 始業前の取組	○ タブレット使用時の目の位置 ○ 9時(夜以降の使用禁止) ○ 前に立つ人に目を向けて聞いていた。 ○ 情報モラルのルール(家庭との確認)